

医療安全認定臨床コミュニケーター養成研修会 2018

(事故時の危機対応のあり方)

資料



会期 2018年9月22日(土)～23日(日)
会場 東京大学医学部教育研究棟13階第6、7セミナー室

主催 国際医療リスクマネジメント学会

担当事務局 国際医療リスクマネジメント学会本部

(〒)113-0033 東京都文京区本郷4-7-12-102

(電子メール) head.office01@iarmm.org

(Tel/Fax)03-3817-6770

(参加者への注意)

受付開始：9月22日午前9時
9月23日午前8時30分

テキストおよび領収書は9月22日の午前に受付でお渡しします。

受講修了書は9月23日の終了時間の後にお渡しします。

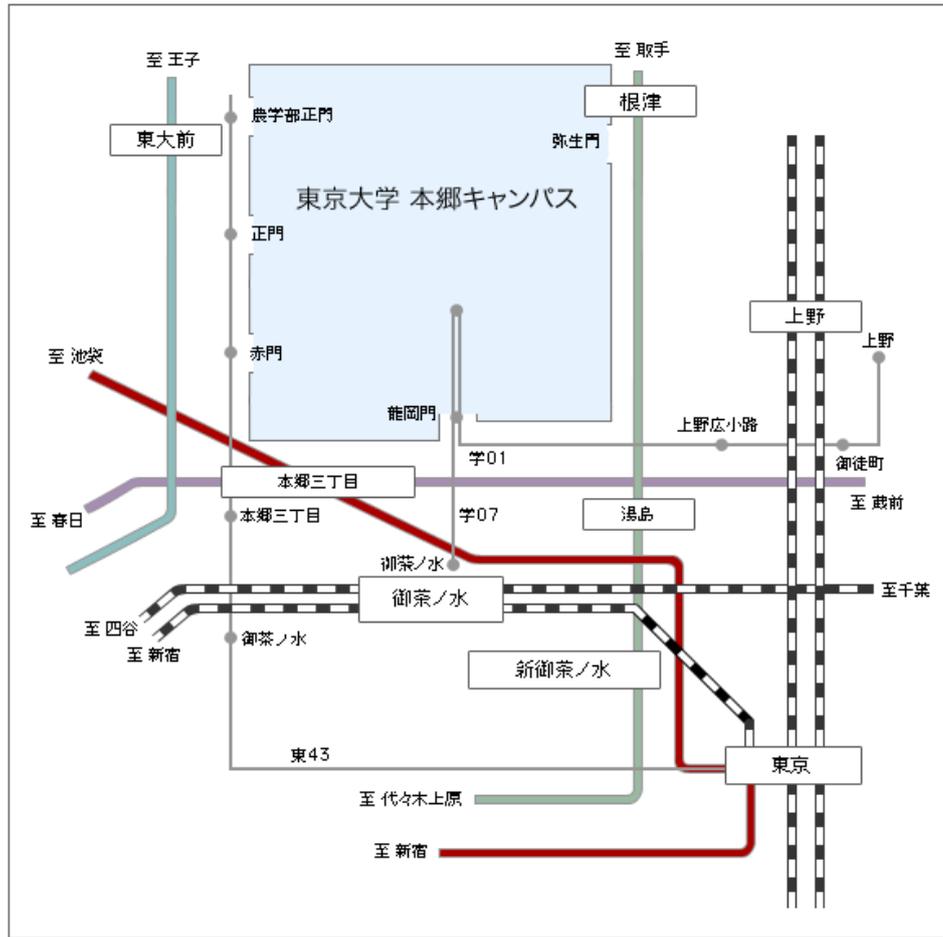
多数の参加者に対する教育プログラムのため、カメラ撮影・ビデオ撮影は他の参加者に迷惑になりますので遠慮ください。

趣旨： 本プログラムは、高度な医療安全活動のために必要となる、医療者と患者・遺族ないし医療従事者間の臨床コミュニケーションに関する最新の技術習得を与えるものです。

参加者には受講証明書を発行いたします。

受講対象者：学会員（国際医療リスクマネジメント学会、日本医療安全学会）、総括医療安全管理者、医科医療安全管理者、医療対話推進者、歯科医療安全管理者、医薬品安全管理者、医療機器安全管理者、リスクマネージャー、医師、歯科医師、看護師、薬剤師、歯科衛生士、臨床工学技士、放射線技師、臨床検査技師、法関係者、医療事務関係者。

交通案内



最寄り駅		所要時間
本郷三丁目駅(地下鉄丸の内線)		徒歩8分
本郷三丁目駅(地下鉄大江戸線)		徒歩6分
湯島駅又は根津駅(地下鉄千代田線)		徒歩8分
東大前駅(地下鉄南北線)		徒歩1分
春日駅(地下鉄三田線)		徒歩10分
御茶ノ水駅 (JR中央線、総武線)	地下鉄利用 丸の内線(池袋行) — 本郷三丁目駅下車	
	地下鉄利用 千代田線(取手方面行) — 湯島駅又は根津駅下車	
	都バス利用 茶51駒込駅南口又は東43荒川土手操車所前行 東大(赤門前、正門前、農学部前バス停)下車	
	学バス利用 学07東大構内行 — 東大(龍岡門、病院前、構内バス停)下車	
御徒町駅 (JR山手線等)	都バス利用 都02大塚駅前又は上69小滝橋車庫前行 — 本郷三丁目駅下車 都02大塚駅前又は上69小滝橋車庫前行 — 湯島四丁目下車	
上野駅 (JR山手線等)	学バス利用 学01東大構内行 — 東大(龍岡門、病院前、構内バス停)下車	

会場案内

TEL 03-3812-2111(大代表)



飲食について

講演会場内での飲食は一切禁止されています。

飲食店は下記をお勧めします。

- 東大安田講堂地下食堂（日曜日はお休みです）
- 東大正門～本郷三丁目交差点付近に多数の飲食店があります。

プログラム

(第1日目) 2018年9月22日(土) 午前10時～午後4時
東京大学医学教育研究棟 13階第6、7セミナー室

入室開始 午前9時

午前10時 開会

午前10時～午前12時 (講義) 医療事故時のコミュニケーションのあり方

和田 仁孝 (早稲田大学大学院法務研究科教授、医療メディエーター協会代表理事)

(概要) 和田先生は医療時の紛争解決を円滑にする仲介役である医療メディエーターの日本の第一人者です。

午前12時～午後1時 昼食

午後1時～午後4時 (講義・実習) 法的観点から見た医療事故発生時の組織対応のあり方

井上 清成 (井上法律事務所弁護士グループ)

(内容) 警察への届出の要否と捜査対応、事故調査組織の作り方、マスコミ・ホームページへの公表の要否と記者会見等のやり方、行政への各種届出の要否と行政対応、患者遺族代理人弁護士への訴訟前対応、医療事故の認定の仕方、院内調査の手法と調査結果報告書の書き方、

午後4時 第1日目閉会

(第2日目) 2018年9月23日(日) 午前9時～午後4時

東京大学医学教育研究棟 13階第6、7セミナー室

入室開始 午前8時30分>

開演 午前9時

午前9時～午前12時 (臨床講演・実習)

事象発生後対応管理 (PARM) コース研修 -- 入院患者急変時対応編

永山 正雄 (国際医療福祉大学医学部教授・神経内科学・国際医療福祉大学熱海病院副院長)

午前12時～午後1時 昼食

午後1時～午後4時 (臨床講演・実習)

医療事故時のコミュニケーションと組織づくりの注意点

辰巳 陽一 (近畿大学附属病院医療安全管理部部長、教授)

午後4時 全体閉会